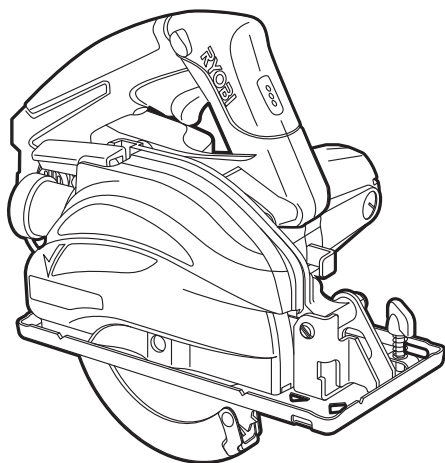


RYOBI

充電式防じんスチールカッタ

取扱説明書

BSC-520



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

もくじ

■安全上のご注意	1 ~ 9
■各部の名称	10
■仕様・付属品	11
■用途・別販売品	11
■各種切断材料に対する適合表	12
■1回のフル充電あたりの作業量	12
■充電について	13 ~ 16
■ご使用前の準備	17
■ご使用前の点検	18 ~ 20
■操作方法	21 ~ 27
■切断作業	28 ~ 32
■保守と点検	33 ~ 34

このたびは、リョービ 充電式防じんスチールカッタをお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△危険」と「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △危険：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
 - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 「△危険」・「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

危険

安全作業のために：

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
2. 電池パックは、火への投入、加熱をしないでください。
3. 電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
4. 電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。
5. 電池パックを金属と一緒に保管しないでください。
6. 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管をしないでください。
 - ・発熱・発火・破裂のおそれがあります。
7. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

危険

8. 電池パックを電源コンセントや、車のシガレットコンセントなどに直接接続しないでください。

- ・ 高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火する原因になります。

9. 電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。

- ・ 指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

警告

1. 正しく充電してください。

- ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
- ・ 温度が0℃未満、または温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
- ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
- ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ・ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ・ 作業場は十分に明るくしてください。
- ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。

4. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ・ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

警告

7. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、本体から電池パックを取外してください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
8. 不意な始動は避けてください。
 - ・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ 電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
10. 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で充分洗い、医師の治療を受けてください。
11. 電池パックを充電工具から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋などに入れてください。
 - ・ 電池端子が短絡して発火のおそれがあります。
12. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。
13. 電池パックを電子レンジに入れないでください。
 - ・ 急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火する原因になります。
14. 電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついたときは充電工具あるいは充電器より取外し、使用しないでください。
 - ・ そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
15. 電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
 - ・ 漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⚠ 注意

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
- ・充電工具や電池パックを、温度が 45℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合った充電工具を使用してください。

- ・小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

注意

10. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 常識を働かせてください。
 - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
13. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
14. 電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - ・ 皮膚がかぶれたりするおそれがあります。
15. 電池パックは出荷前に若干量の充電をしていますので、充電工具の動作確認にお使いください。動作確認ができない場合や、長時間の使用の場合には、指定の充電器で充電してからお使いください。
16. 電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。
 - ・ 充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。
17. 電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。
 - ・ 保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

注意

18. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・サービスマン以外の方は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。
- ・充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

充電式防じんスチールカッタご使用に際して

先に充電工具として共通の危険・警告・注意事項を述べましたが、充電式防じんスチールカッタをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ノコ刃が露出していると、けがの原因になります。
2. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。また、刃底径が100mm以下のノコ刃は使用しないでください。
 - ・ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。
3. 使用時は必ずダストカバーを取付けてください。
 - ・取付けていないと、切断時切り粉が外部に飛散し、けがなどの原因になります。
4. 切断する材料は、必ず安定性のよい台に置いてください。
 - ・台が不安定ですと、けがの原因になります。
5. 切断材料は確実に固定してください。
 - ・固定が不安定ですと切断材料が飛んだり、ノコ刃が破損する原因になります。

警告

6. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし寸前や切断途中に、材料の重みでノコ刃がはさみつけられないように、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。
 - ・ノコ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
7. 台の高さは、切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、少なくともノコ刃の出しろの3倍以上にしてください。
 - ・このような台がないと、けがの原因になります。
8. 金属を切断するときは引火しやすいもの、傷つきやすいものは、遠ざけてください。
 - ・切りくずは高温になり、または切断火花も発生します。
 - 切りくずなどを直接手足などにあてると、けがの原因になります。
9. 切断油などをつけて切断しないでください。
 - ・切断油、研削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する場合があります。
10. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
11. 使用中は、ノコ刃や回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
12. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げるようにしてください。
 - ・回転させたまま本体を戻したり、持上げると強い反発力が生じ、けがの原因になります。
13. 鋼材の連続切断はしないでください。
 - ・鋼材を連続して切断すると、切断火花、切りくずによりダストボックスが高温となり、変形したり、溶ける原因になります。
14. セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。
 - ・セフティ機構が働かず、けがの原因になります。
15. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
16. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ノコ刃など）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

警告

17. 電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。
 - ・端子に金属類を接触させないでください。
 - ・釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
 - ・雨や水に濡らさないでください。
18. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・爆発や火災のおそれがあります。
19. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
 - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
20. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けないでください。
21. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

注意

1. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にしないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 切断材料に適したノコ刃を使用してください。
 - ・刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
3. ノコ刃にヒビや割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
4. 使用中は、皮製の手袋を着用してください。軍手など巻込まれるおそれがある手袋は着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
5. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本体の振動やノコ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・異常があるとけがの原因になります。
6. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
 - ・本体を落としたりし、けがの原因になります。

⚠ 注意

7. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ・強い反発力が生じ、けがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業しないでください。
 - ・手を切るおそれがあります。
9. 本体を万力などで保持してノコ刃を上向きにした使い方はしないでください。
 - ・不意の接触などで、けがの原因になります。
10. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
 - ・材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
11. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。
12. 作業直後の刃物類（ノコ刃）、切りくず、ダストカバーは高温になっていますので直接手など触れないでください。
 - ・やけどの原因になります。
13. 切りくずは満杯になる前に早めに捨ててください。
 - ・ダストカバー内に切りくずが満杯のままで使用すると、集じん力が低下します。
また、ダストカバーが高温となり、変形、溶けの原因になります。
14. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。



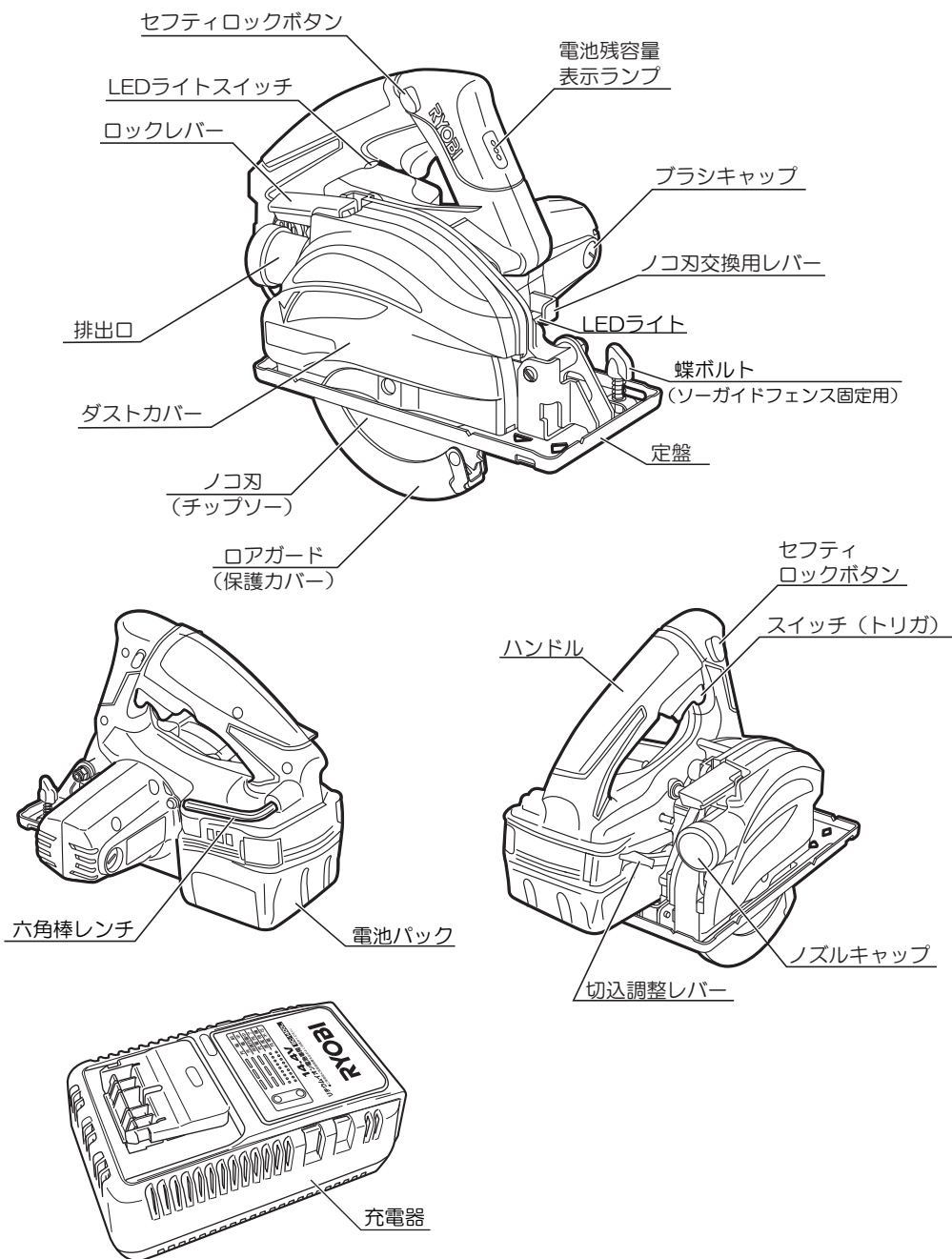
リチウムイオン電池の回収にご協力ください。

左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。リョービグループでは、希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっています。不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお持ちくださるようお願いいたします。

⚠ 注意

- ・不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分のショートにより発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

各部の名称



仕様・付属品・用途・別販売品

●仕様

●本体

- ・無負荷回転数 $3,850\text{min}^{-1}$
- ・最大切込深さ 52mm
- ・ノコ刃寸法（外径×内径） $135 \times 20\text{mm}$
- ・電圧 DC 14.4V
- ・使用電池パック B-1430L
- ・付属充電器 BC-1400L
- ・機体寸法（長さ×幅×高さ） $271 \times 194 \times 240\text{mm}$
- ・質量（電池パックを含む） 2.8 kg

●電池パック（B-1430L）

- ・電圧 DC 14.4V
- ・電池 リチウムイオン電池
- ・容量 3,000mAh
- ・質量 0.5kg

●充電器（BC-1400L）

- ・電源 AC 100V 50/60Hz
- ・定格出力電圧 DC 14.4V
- ・標準充電時間 27 分
- ・質量 0.8kg

●付属品

- ・六角棒レンチ 1（本体装着）
- ・レーザースリットチップソー（鉄工用） 1（本体装着）
（外径）135mm × （内径）20mm × （刃数）30
- ・充電器（BC-1400L） 1
- ・電池パック（B-1430L） 1
- ・バッグ 1

●用途

- ・一般軟鋼材、非鉄金属、金属系建材などの切断

●別販売品

- ・レーザースリットチップソー（鉄工用）
（外径）135mm × （内径）20mm × （刃数）30
- ・ソーガイドフェンス

各種切断材料に対する適合表

(◎最適 ○適)

切断材料			寸法（板厚）	レーザースリット チップソー（鉄工用）
一般軟鋼材	ダクターチャンネル E ハンガー		2.3mm 以下	◎
	リップ溝形鋼			◎
	ハンガーレール			◎
	角パイプ			◎
	電線管		1.6mm 以下	◎
	鋼板		3.2mm 以下	◎
非鉄金属	アルミサッシ カーテンレール（アルミ）			○
	真鍮管・真鍮棒			○

1 回のフル充電あたりの作業量（目安） （周囲温度 20℃）

（注）・表中の数値は参考値です。電池パックの電池容量および、材質、ノコ刃の切れ味、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。

（3,000mAh 電池パック使用時）

材 料	切断本数
電線管 E25 （径）25.4mm × （厚さ）1.2mm	約 170 本
ダクターチャンネル 40mm × 45mm × （厚さ）2.0mm	約 70 本

充電について

危険

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
2. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

警告

1. 正しく充電してください。
 - ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
 - ・温度が0℃未満、あるいは温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・電池パックは換気の良い場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。火災のおそれがあります。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。火災のおそれがあります。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。感電、火災のおそれがあります。
 - ・使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
2. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・爆発や火災のおそれがあります。

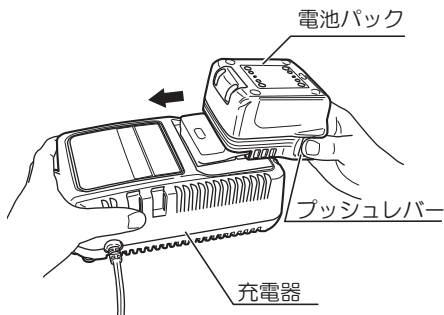
注意

1. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
2. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

●充電方法

- ・充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。
充電状態は充電器のランプの点滅で示しています。(表1)

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。
2. 電池パックを充電器のさし込み口にカチッと音がするまでさし込みます。
3. 充電が完了したら電池パックを充電器から取り出します。(両側のプッシュレバーを押しながら抜いてください。)
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



(注)

- ・充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・リチウムイオン電池は、電池パックの温度が0℃～40℃の間で充電できますが、電池パックの温度が5℃以下の場合は充電完了までの時間が長くなります。
- ・充電完了後は、必ず充電器から電池パックを取外してください。

充電器 (BC-1400L) ランプ表示

表1

表示モード	ランプの表示		表示内容
充電前	緑	点 滅	充電器をコンセントにさし込んだ状態。
充電中	赤	点 灯	充電している状態。
保護充電中	赤	点 滅	電池保護のための初期充電状態。※
充電完了	緑	点 灯	充電が完了した状態。
温度待機	緑	短点滅	電池パックの温度が充電に適した温度でない状態。 ・充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
充電不可	赤・緑	短点滅 (交互)	充電できない状態。 ・電池寿命または電池パックの故障が考えられます。

※ 購入後、初めての使用時や、長期保管後の電池は、“保護充電中”になる場合があります。
保護充電が終了すると、自動で“充電中”に切り替わります。

充電について

●電池パックについて

- ・本機に使用可能な電池パックは表2の通りです。お手持ちの電池パックをご使用の場合、または購入される際は、表2をご確認ください。

表 2

リチウムイオン電池	B-1415L 1,500mAh	B-1425L 2,500mAh	B-1430L 3,000mAh	B-1440L 4,000mAh
使 用	不可	可	可	可
標準充電時間	27 分	27 分	27 分	40 分

(充電器 BC-1400L 使用時)

●電池パックの保管について

注 意

- ・電池容量が少ない状態で放置しないでください。(電池残容量表示ランプが点滅の場合充電をおすすめします。)
- ・満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。
- ・長期間(6ヶ月以上)ご使用にならない場合は、充電した状態で保管してください。
- ・電池パックを保管する際は、必ず充電器から取外して保管してください。

●電池寿命について

- ・正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合には、電池寿命がきたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

●電池残容量の確認

- ・スイッチ(トリガ)を引き続けた状態で3秒間、電池残容量表示ランプが点灯・点滅します。
ランプの点灯・点滅により電池の残容量を確認することができます。
ランプの表示内容は下表の通りです。

ランプ表示	電池状態
●●● 3個点灯	満充電の状態。
○●● 2個点灯	まだ半分程度使用できます。
○○● 1個点灯	充電をおすすめします。
○○○ 1個点滅	充電が必要です。



●保護機能

- ・本機には保護機能(制御回路)を搭載しています。
本機使用中、スイッチ(トリガ)を引いた状態でもモーターが停止する、またはスイッチを(トリガ)を引いたとき刃物が少し回って停止することがあります。これは保護機能によるものであり、故障ではありません。
スイッチを引き続けた状態で3秒間、電池残容量表示ランプが3個点滅します。
ランプの点滅により保護機能が働いたことを確認することができます。
ランプの表示内容は下表の通りです。

ランプ表示	状 態	対 策
●●● 3個点滅	電池パックが高温になったとき	電池パックを本体から取外して、電池を冷却してください。
	本体が過負荷状態(ノコ刃がロックするなど)になったとき	一旦スイッチを切り、過負荷の原因を取除いてください。再度、スイッチを入れる(トリガを引く)と起動します。
	電池残量が少なくなっているとき	電池パックを充電してください。

ご使用前の準備

●作業場に関して

- ・作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●作業台を用意します

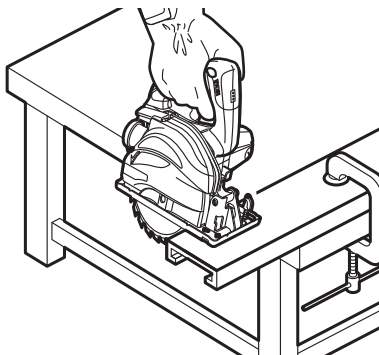
- ・チップソーは材料の下面より出ますので、材料は作業台の上に置いて切断してください。

作業台の高さ

- ・ノコ刃およびロアガードが地面に接触しないように、十分な高さ（ノコ刃の出しろの3倍以上）にしてください。

材料の固定

- ・切断する材料（切り残し側）をバイスなどでしっかりと固定してください。固定が不十分な場合は刃物寿命が短くなります。



⚠ 警告

- ・材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台または角材を設けてください。ノコ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
- ・切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、ノコ刃の出しろの3倍以上にしてください。このような台がないと、けがの原因になります。

ご使用前の点検

⚠ 警告

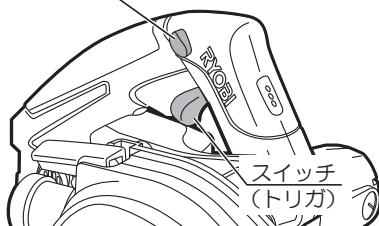
・ご使用前に次のことを確認してください。

1. ～ 4. 項については、本体に電池パックを取付ける前に確認してください。

1. スイッチが切れていることを確かめます

- ・セフティロックボタンが解除され、スイッチが入っていることを知らずに、電池パックを取付けると、不意に始動し、思わぬけがの原因になります。

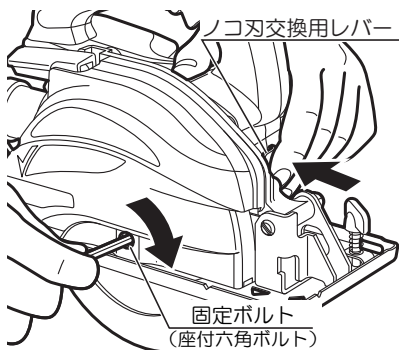
セフティロックボタン



2. ノコ刃の締付けを確かめます

- ・ノコ刃交換用レバーを押込みながら、付属品の六角棒レンチで固定ボルトを矢印方向に回すと、ノコ刃の回転が止まる位置があります。その状態でノコ刃の締付けを確認してください。

ノコ刃交換用レバー



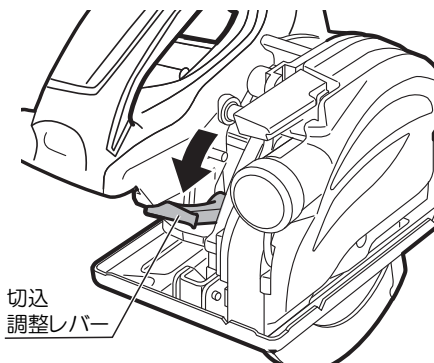
⚠ 警告

- ・ノコ刃交換用レバーが元の位置に戻り、ノコ刃がフれることなく回転することを確認してください。

3. 切込調整レバーの締付けを確かめます

⚠ 警告

- ・切込調整レバーが十分締まっていることを確認してください。ゆるんでいると、けがの原因になります。



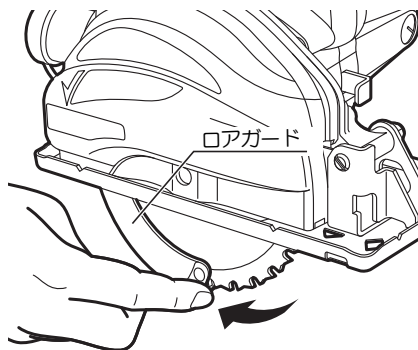
ご使用前の点検

4. ロアガード（保護カバー）の動きを確かめます

⚠ 警告

- ・ ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。ノコ刃が露出していると、けがの原因になります。

- ・ ロアガードは、身体がノコ刃に触れるのを防ぐものです。必ずノコ刃を覆うように円滑に動くことを確認してください。
- ・ 万一、ロアガードが円滑に動かない場合は、決してそのまま使用しないでください。この場合は、お買い上げの販売店に修理をご用命ください。

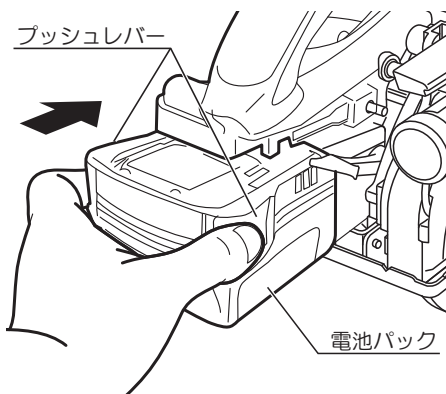


5. 電池パックを取付けます

⚠ 警告

- ・ 電池パックを本体に取付けるときは、スイッチに指をかけないでください。
- ・ 使用前には、電池パックが本体に確実に取付けられていることを必ず確認してください。取付けが完全でないと、作業中に電池パックが落下して、けがなどをするおそれがあります。

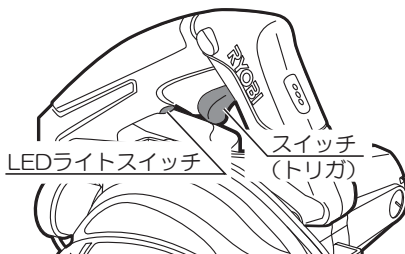
- ・ 電池パックの溝に本体を合わせ、矢印方向にまっすぐさし込んでください。
『カチッ』と音がして、プッシュレバーがもとの位置に戻っていることを確認ください。



6. LED ライトの点灯を確かめます

・ LED ライトの点灯には 2 通りの方法があります。

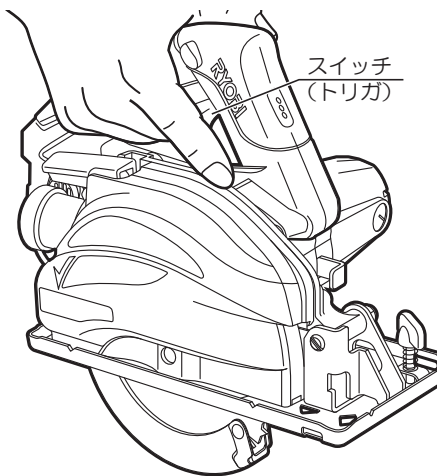
- ① LED ライトスイッチを押すと点灯し、放すと 5 秒後に消えます。切断前の墨線位置の確認にご利用ください。
- ② スイッチ（トリガ）を引くと点灯し、放すと消えます。スイッチと連動しています。



7. ブレーキがかかることを確かめます

⚠ 注意

- ・ ブレーキがかかるときの反発力に注意してください。機体を落としたりし、けがの原因になります。
- ・ 本機はスイッチを切ると同時にノコ刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。
- ・ 万一正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店に修理をご用命ください。



操作方法

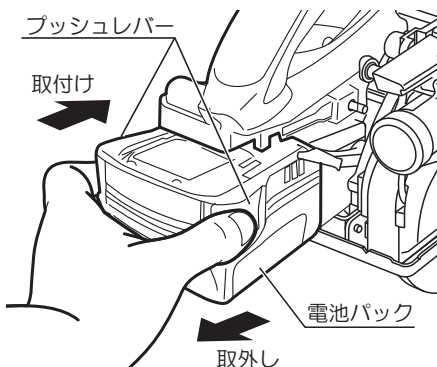
●電池パックの取付け、取外し

⚠ 警告

- ・ 電池パックを本体に取付け、取外しをするときは、スイッチに指をかけないでください。
- ・ 使用前には、電池パックが本体に確実に取付けられていることを必ず確認してください。取付けが完全でないと、作業中に電池パックが落下して、けがなどをするおそれがあります。

（取付け）

- ・ 電池パックの溝に本体を合わせ、矢印方向にまっすぐさし込んでください。
『カチッ』と音がして、プッシュレバーがもとの位置に戻っていることを確認ください。



（取外し）

- ・ 両側のプッシュレバーを押えて、矢印方向にまっすぐ抜いてください。

●スイッチの扱い方

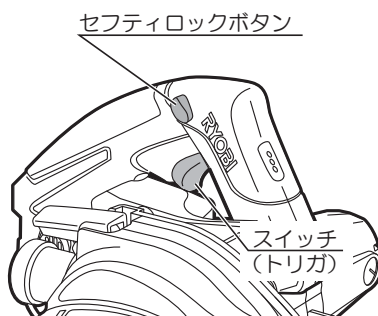
⚠ 警告

- ・ 本体に電池パックを取付ける前に、スイッチが切れていることを確認してください。スイッチを入れたまま電池パックを取付けると急に回りだし、事故の原因になります。

⚠ 注意

- ・ 本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本体をしっかり保持してください。本体を落としたりして、けがの原因になります。

- ・本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければ（左右どちらからでもよい）スイッチは入りません。
- ・スイッチはセフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入り、放すと切れます。
- ・スイッチから指を放すとセフティロックボタンが自動的に中央に戻り、スイッチは入りません。



＜スイッチ操作に関する機構＞

●ソフトスタート

- ・始動時の反動を抑え、電池パックの消費を低減させるソフトスタート機構を備えています。

●ブレーキ付

- ・スイッチを切るとノコ刃がすばやく止まるブレーキ機構を備えています。

●LED ライトについて

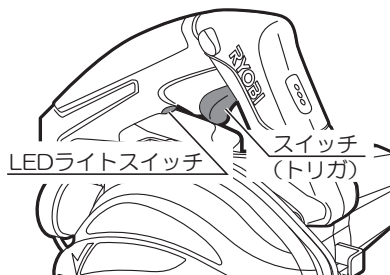
⚠ 警告

- ・LED ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。LED ライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。

- ・墨線が見やすいLED ライトがついています。
- ・LED ライトの点灯には2通りの方法があります。
 - ① LED ライトスイッチを押すと点灯し、放すと5秒後に消えます。切断前の墨線位置の確認にご利用ください。
 - ② スイッチ（トリガ）を引くと点灯し、放すと消えます。スイッチと連動しています。

（注）

- ・ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などでふき取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、明るさの低下の原因になります。
- ・ライトレンズの清掃の際は、ガソリン、シンナーなどでふかないでください。レンズを傷めます。



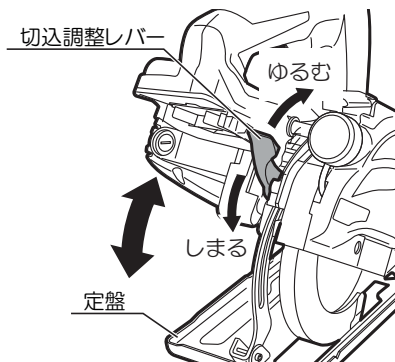
操作方法

●切込深さの調整

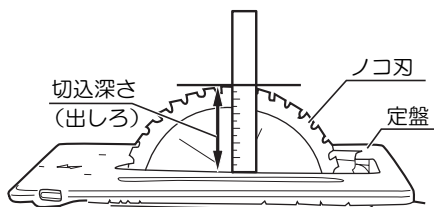
⚠ 警告

- ・切込深さの調整の際は、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・切込調整レバーがゆるんでいると、けがの原因になります。調整後は十分に締付けてください。

- ・本体後方の切込調整レバーをゆるめて、材料の厚さに合わせて定盤を上下させて調整します。調整後は、切込調整レバーをしっかり締付けてください。

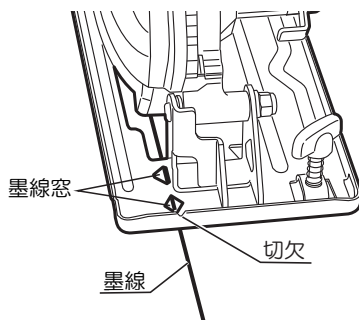


- ・切込深さ（出しろ）を調整する場合は、定盤面から出ているノコ刃の寸法を測って決めてください。



●切断位置について

- ・切断する材料の上に本体（定盤面）をのせ、定盤先端の切欠、墨線窓を墨線に合わせます。
- ・定盤についている窓（穴）は、最大切込深さでのノコ刃の刃先および材料の位置が確認できます。



●ノコ刃（チップソー）の取付け、取外し

⚠ 警告

- ・ノコ刃の取付け、取外しの前には、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。
また、刃底径が 100mm 以下のノコ刃は使用しないでください。ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。
- ・ノコ刃の取付け後は、六角棒レンチを取外し、ノコ刃交換用レバーが元に戻り、ノコ刃がスムーズに回転することを確認して、スイッチを入れてください。六角棒レンチが飛ぶなどしてけがの原因になります。

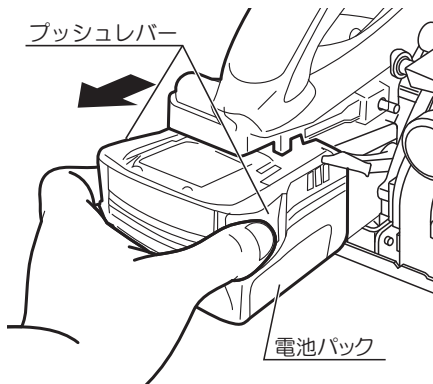
⚠ 注意

- ・ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
- ・作業直後のノコ刃やダストカバーは熱くなっているので素手で触らないでください。やけどの原因になります。
- ・ノコ刃の取付け、取外しは取扱説明書に従って確実にこなしてください。
確実にしないと、外れたりし、けがの原因になります。
- ・ノコ刃の脱着は付属品の六角棒レンチ以外の工具は使用しないでください。締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

（取外し）

1. 電池パックを取外します

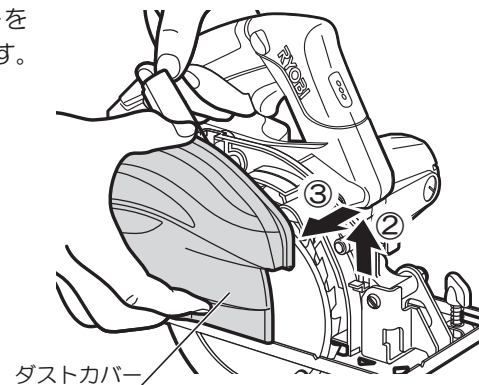
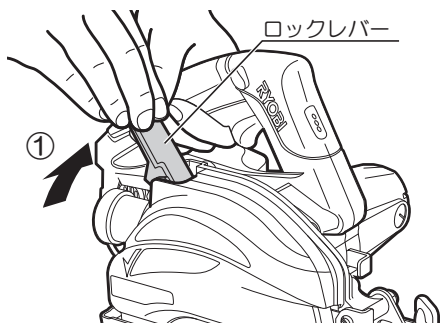
- ・両側のプッシュレバーを押えて、矢印方向にまっすぐ抜いてください。



操作方法

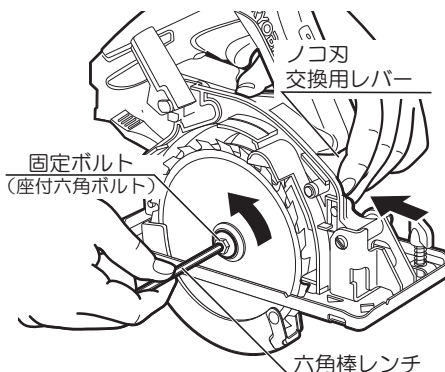
2. ダストカバーを取外します

- ・ ロックレバーを上げ (①)、ダストカバーを矢印 (②→③) の方向に引抜いて取外します。



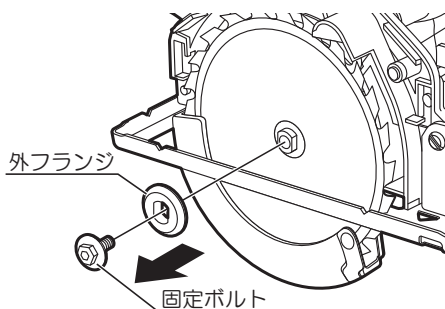
3. ギヤシャフトを固定します

- ・ ノコ刃交換用レバーを押さえた状態でギヤシャフトが固定される位置までゆっくりと六角棒レンチで固定ボルト (座付六角ボルト) を矢印方向に回します。



4. 固定ボルト、外フランジを外します

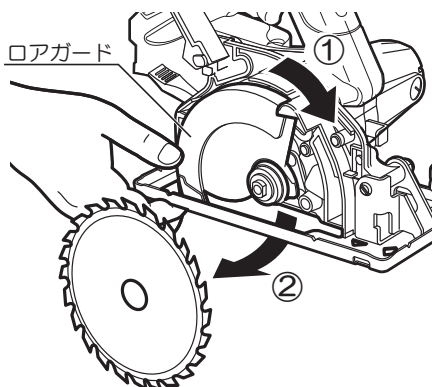
- ・ ギヤシャフトを固定した状態で、六角棒レンチを矢印方向に回して固定ボルトをゆるめ、固定ボルト、外フランジを取外します。



5. ノコ刃を外します

- 手でロアガードをいっぱいまで引上げた状態で、ノコ刃を取外します。

(注) このとき、内フランジとダストワッシャも外れることがありますので、その際は、本体に取付けてください。

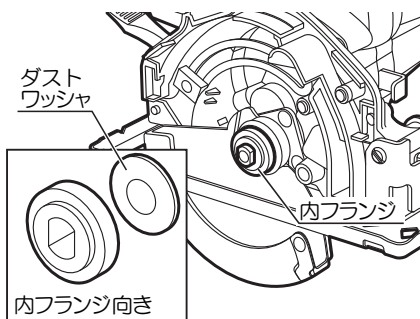
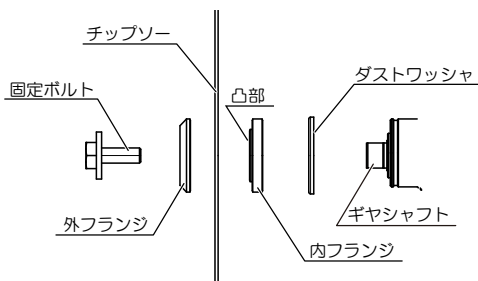


(取付け)

1. 電池パックを取外します

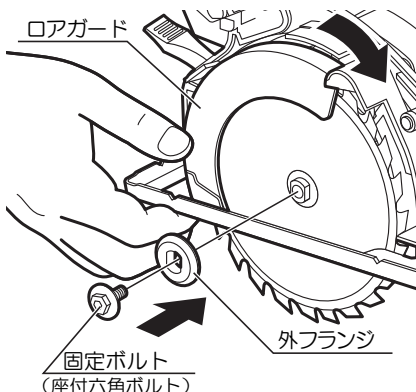
2. 内フランジとダストワッシャの確認

- ダストワッシャは平面が内フランジ側、内フランジは凸側をノコ刃側になるように取付いているか確認してください。



3. ノコ刃を取付けます

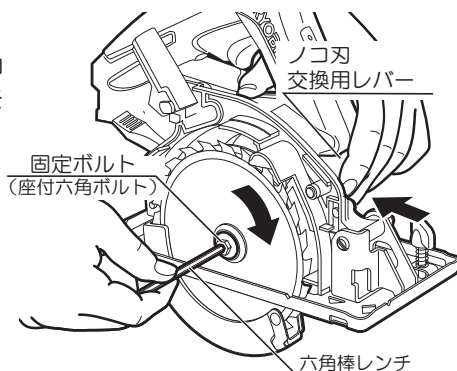
- ロアガード（保護カバー）をいっぱい引上げた状態にします。この状態でノコ刃を内フランジの上に取り付けます。外フランジの凹側をノコ刃側にして取付けます。



操作方法

4. 固定ボルト締付けます

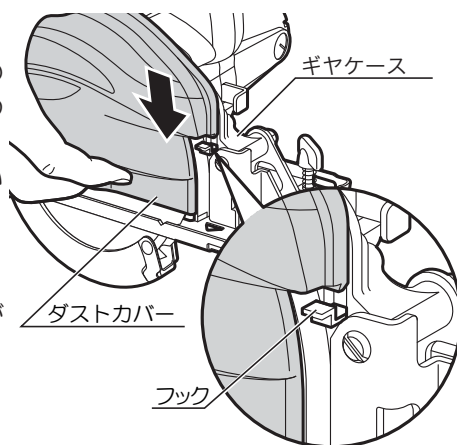
- ・ノコ刃交換用レバーを押さえた状態で、六角棒レンチを矢印方向に回して固定ボルトをしっかりと締付けます。



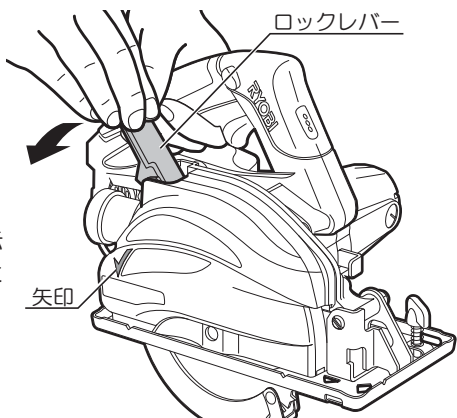
5. ダストカバーを取付けます

- ・ダストカバー底面を定盤に当て、本体内側のフックに引っ掛けてダストカバーの位置合わせをし、ロックレバーを下げて固定します。ダストカバーがフックに確実に引っ掛っていることを確認してください。

(注) ダストカバーとギヤケースの間に隙間がないことを確認してください。



(注) ノコ刃の矢印と本機ダストカバーに表示されている矢印の向きが合っていることを確認してください。



切断作業

⚠ 警告

- ・ 電池パックを装着した状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。また、刃底径が100mm以下のノコ刃は使用しないでください。
ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。
- ・ 使用前にロアガード（保護カバー）やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか所定の機能を発揮するか確認してください。
異常があるとけがの原因になります。
- ・ セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。
- ・ ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。けがの原因になります。
- ・ ノコ刃を上向き、横向きにした使い方はしないでください。けがの原因になります。
- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。（保護めがね、防じんマスクは市販品を使用してください。）
- ・ 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。
まっすぐ静かに進めてください。モーターに無理がかかるとともに、反発力を受け、けがの原因になります。
- ・ 使用中は、ノコ刃や回転部、切り屑の排出部へ手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・ 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げてください。回転させたまま本体を戻したり、持上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ・ 作業後は、必ずスイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。

⚠ 注意

- ・ ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
- ・ 使用中は、革製の手袋を着用ください。軍手など巻込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
- ・ 本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかり保持してください。本機を落としたり、事故の原因になります。

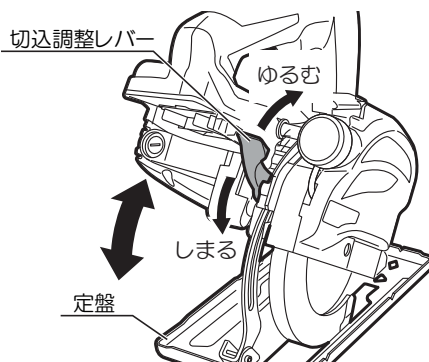
切断作業

⚠ 警告

- ・ 安全のために 1. の操作はスイッチを切り、本体より電池パックを取外してから行なってください。

1. 切込深さを調整します

- ・ 切込深さを調整します。(23 ページ『切込深さの調整』参照)



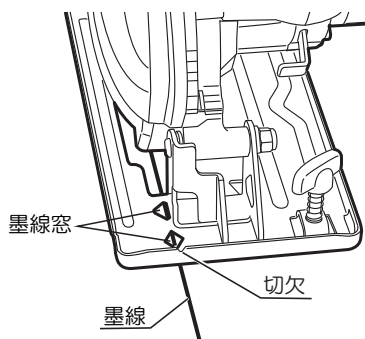
2. 電池パックを取付けます

- ・ スイッチが切れていることを確認し、本体に電池パックを取付けます。

3. 墨線に合わせます

- ・ 材料の上に本体（定盤面）をのせ、定盤前方の切欠き、墨線窓を墨線に合わせます。

(注) 定盤先端の切欠きと定盤前方の墨線窓の位置合わせは目安です。必ず試し切りを行なってください。

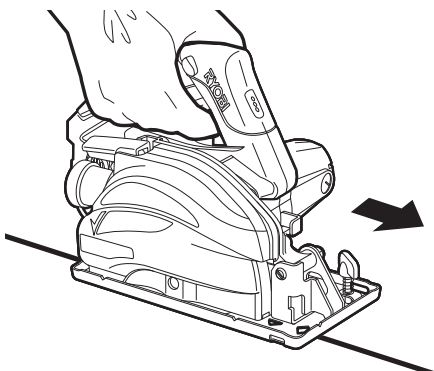


4. スイッチを入れ、ゆっくり進めます

- ・ ノコ刃が切断材料に触れていないことを確認してスイッチを入れます。
- ・ ノコ刃の回転が上がり、回転（全速）が安定したら定盤面を切断材料に密着させ、墨線をなぞるようにゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにしてください。
- ・ 切断終了後は、ノコ刃を切断材から外してスイッチを切ります。

(作業のコツ)

- ・ ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。特に切り始め、切り終わりはゆっくり進めてください。



刃物寿命を長くする切断のポイント

① 材料はしっかりと固定する。

出来るだけバイスを使用してください。現場などでバイスなどによる固定が難しい場合は、足で踏みしっかりと固定してください。

② 本機は両手で持ち安定させて作業する。

③ 適切な力で押して切断する。（重要）

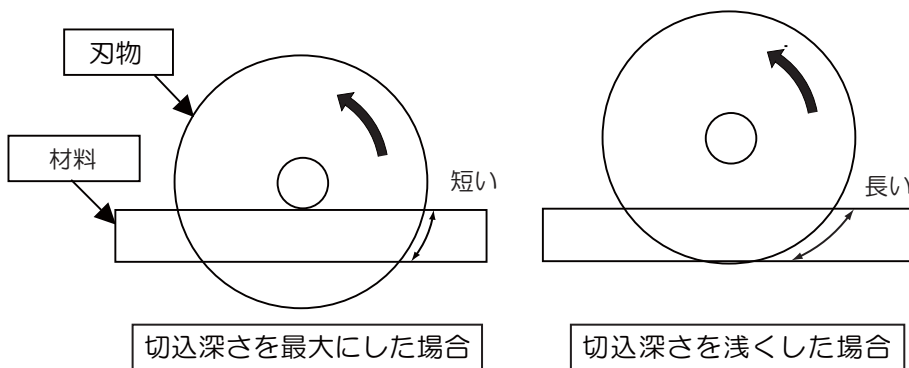
チップソーの切断は材料に刃物を入れ始める際はゆっくりと切り始め、途中は一定の速度で、最後は力を抜いて滑らかに切り終えください。

切断時本機を押す力は、弱過ぎるとチップがすべり発熱し、強過ぎると火花が多く発生し発熱します。チップは熱に弱いので発熱を抑えることが寿命を延ばすポイントです。また、強く押し過ぎるとモーター焼けの原因にもなります。

④ 切込深さは最大切込深さで作業する。

切込深さを浅くすると材料に刃物が掛かる長さが長くなり（下図参照）、刃物寿命が短くなります。

但し、薄板 t1.6mm 未満を切断する場合は、チップソー（鉄工用）を使用し、切込み調整を浅めに設定してください。刃物寿命に影響なくカエリが少ないきれいな切断面となります。



切断作業

●切り粉の捨て方

⚠ 警告

- ・ダストカバー脱着の際は、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意

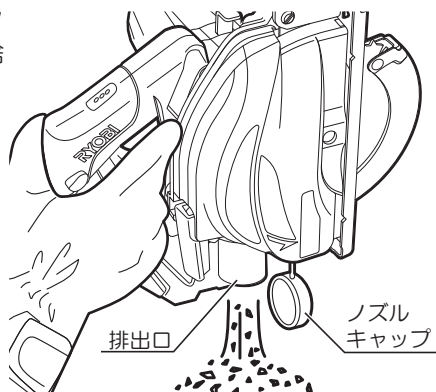
- ・切断直後の切りくずは高温になるため、ダストカバーが高温になる場合があります。切りくずやダストカバーには直接手などで触れないでください。必ず保護具（手袋）を着用してください。やけどの原因になります。

- （注）・ダストカバー内に切りくずが溜まりすぎると、集じん力が低下します。集じん量確認窓から時々確認し、満杯になる前に早めに捨ててください。
- ・切りくずを捨てるときには、本体モーター部、電池パック取付け部に切りくずが入らないようにしてください。

切りくずを捨てる方法は2通りあります。

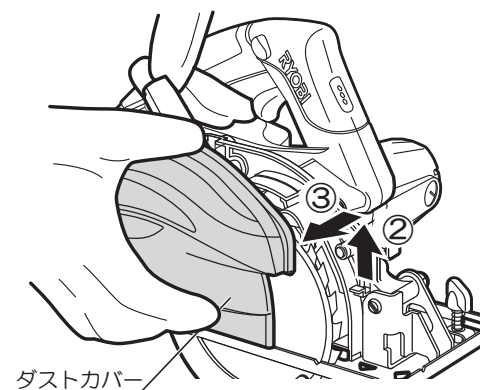
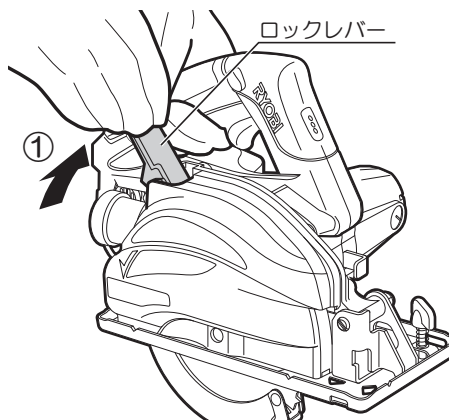
1. 排出口より捨てる方法

- ・ダストカバー後方の排出口に装着しているノズルキャップを外し、本体後部を下にして捨ててください。



2. ダストカバーを外して捨てる方法

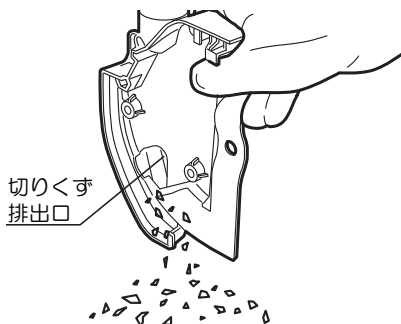
・ロックレバーを上げ（①）、ダストカバーを矢印（②→③）の方向に引抜いて取外します。



・ダストカバーの内側にある切りくず排出口から捨ててください。

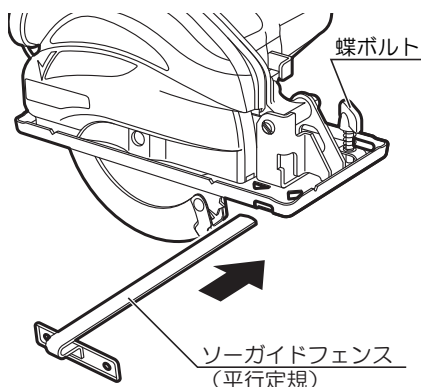
（注）ダストカバー内に切りくずが一杯になる前に早めに捨ててください。

・ダストカバーの取付け方法は、27ページ『5. ダストカバーを取付けます』を参照ください。



●ソーガイドフェンスについて（別販売品）

- ・正確な直線側面を持つ材料では、ソーガイドフェンスを利用することで、同寸法の加工が連続してできます。
- ・切断幅寸法は、ノコ刃とソーガイドフェンスの案内面までの寸法によって決まります。
- ・ソーガイドフェンスは定盤の左右どちらにでも取付けられます。
- ・取付けは、寸法を合わせた後、蝶ボルトでソーガイドフェンスを固定します。



保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

●ノコ刃の点検について

- ・切れ味の悪くなったノコ刃をそのまま使用すると、モーターに無理がかかり作業能率も落ちます。早めに目立てするか新品と交換してください。
(交換方法は、24～27 ページ『ノコ刃の取付け、取外し』を参照してください。)

⚠ 警告

- ・切れ味の悪くなったノコ刃はそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

●各部取付けネジの点検

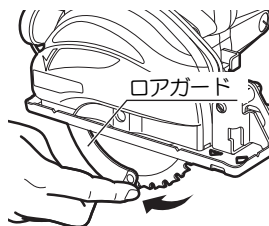
- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●ロアガード（保護カバー）の動作点検と保守

- ・ロアガードは、いつも円滑に作動するようにしてください。
なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。



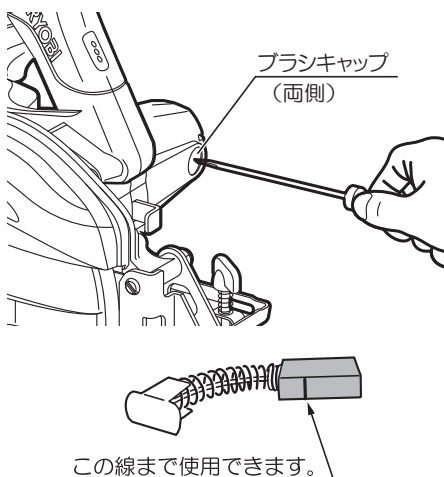
●ダストカバー内の切りくず排出口の清掃

- ・切りくずなどが溜まらないように定期的に点検、清掃してください。



●カーボンブラシについて

- ・本機はモーター部に消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは全長の1/3（線の入った位置）程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。
- ・ブラシキャップを⊖ドライバで取外し、カーボンブラシを取出してください。
- ・カーボンブラシは2個1セットです。交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも同時に交換してください。
この時、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くことを確認してください。



●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
- ・電池パックを長期間保管する場合は下記のことにご注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、充電状態で保管すること。
 - b. 6ヶ月に一度は充電してください。
 - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所で長期保管しないこと。
 - d. - 20℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保存しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 電池パックを保管する際は、必ず充電器から取外して保管すること。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141

<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>